

東京丸の内エリアの魅力

オープンイノベーションフィールド

三菱地所は、「多様な個人のクリエイティビティ発揮」「『持続可能な開発目標（SDGs）』に向けた具体的アクション」「DX（デジタル・トランスフォーメーション）によるライフスタイル・企業行動の革新」がこれからの“まちづくり”に必要なだと考えます。

これらの役割に応え進化していく街を目指し、三菱地所は丸の内エリアのオープンイノベーションフィールド化を進めていきます。

ページ専用 KV

オープンイノベーションの推進

ロボット開発の取り組み

← アンカーリンク

オープンイノベーションの推進

2007年にスタートアップ企業向けのオフィス・ビジネスコミュニティ「EGG JAPAN」を創設して以降、当社では丸の内エリアにおいて国内外のスタートアップ企業や成長企業等の集積・事業支援を継続的に行なってきました。2018年4月には当該企業等に特化したリーシング及び関連する施設運営・ビジネス開発支援等を担う部署として「xTECH 営業部（2020年4月より、xTECH 運営部）」を、2019年4月にはデジタルテクノロジーを活用したビジネスモデル革新のグループ横断的な推進をさらに加速するために「DX 推進部」を新設するなど、組織改正にも取り組んでおります。



← 現行のイメージを使用

TECH

主に丸の内エリアを舞台に活躍する大手企業やスタートアップ、大学等の人々の思考や想い・組織を越えた交わり（クロス）等の最新事例を中心としたオリジナル記事やイベント情報、ニュースを配信するコンテンツメディアです



← 現行のイメージを使用

TMIP

TMIP(Tokyo Marunouchi Innovation Platform) は、大手町・丸の内・有楽町（大丸有エリア）のイノベーション・エコシステム形成に向けて、大企業とスタートアップ・官・学が連携して社会課題を解決することで、グローバルなマーケットに向けたイノベーションの創出を支援するプラットフォームです。



← 現行のイメージを使用

三菱地所のコワーキングスペース

三菱地所では、オープンイノベーションを推進するコミュニケーション形成型コワーキングスペースを提供しています

詳しくはこちら

← コワーキングスペースのページへ遷移

ロボット開発の取り組み

三菱地所は、人手不足・少子高齢化・働き方改革等の社会的課題を踏まえ、警備・清掃・運搬ロボット等の最新テクノロジーを積極的に活用した効率的且つ付加価値の高い次世代型の施設運営管理モデル構築に向け、鋭意取り組んでおります。

また、ロボット開発企業への出資、大学との連携等を実施することで、人とロボットが協業する社会の実現を目指しています。



Whiz [©SoftBank Robotics]

← 現行のイメージを使用

AI 清掃ロボット Whiz を三菱地所グループ物件に順次 100 台導入



SQ-2

← 現行のイメージを使用

三菱地所本社ビルにて警備ロボット「SQ-2」の運用を開始



立命館協定

← 現行のイメージを使用

2019年3月学校法人立命館と「戦略的 DX（デジタルトランスフォーメーション）パートナーシップ協定」を締結。